

区民の皆様へ

地縁団体寺町区
区長 渡邊謙治

猫の飼い方の今昔

かつて、猫は外で自由気ままに生きている動物と考えられ、外飼いするのが普通でした。

しかし本当は、外猫は決して気ままで幸せとはいきません。外には猫のウイルス病がまん延しており、猫同士のケンカによって感染します。外飼いのままであれば、いずれはボロボロになって病死しますし、その前に交通事故で短い生涯を終えることもあるでしょう。昔なら、いなくなっても気ままな旅にでも出たのかと思ったかもしれませんね。また、近年は外猫を巡るご近所トラブルが多く、外猫の肩身がどんどん狭くなるばかりです。

新潟県では、人と猫が共に幸せに生きるために次のような[今どきの猫の飼い方]をもっと多くの方に知ってもらいたいと考えています。

▼完全室内飼育

完全室内飼育でも、環境を整えれば猫は安全で長く幸せに暮らすことができます。

▼不妊・去勢手術

猫は妊娠期間がわずか2ヵ月で、4匹～8匹の子猫を生み、それを年に2回、3回繰り返すこともあります。不妊・去勢手術をすれば、発情による問題行動が減り、不幸な猫を増やすこともなくなります。

▼首輪に迷子札

もし猫が外に出たり災害で迷子になったりしても、迷子札があれば、飼い主の元に帰ってこられるかもしれません。マイクロチップも絶対外れない身分証明になります。

▼ワクチン接種 猫の感染症にはワクチン接種で予防できるものもあります。

《問合せ先》

健康福祉環境部（上越保健所）

上越動物保護管理センター

（電話 0 2 5 - 5 2 5 - 9 2 6 3）

猫にエサを
与えないで下さい

